

関西業務ニュース

2012年3月27日 No.216

JR東海労働組合新幹線関西地方本部

発行 小林 國博 編集 業務部

3月27日、業務委員会開催。

前々回の業務委員会（3月8日）で持ち越した「大阪修繕車両所における職場諸要求」に関して業務委員会開催。

社員の切実な要求実現を強く要求！

《若干のやりとり》

5-⑨について

組合：何か知らせる方法、設備出来ないのか。

会社：どの基地も同じ、良く確認をしてほしい。前部標識白色の時は特に注意するよう指導している。

組合：短い編成が車両の間からスピードを上げて走行してくるときなど危険だ。

会社：出来れば16号車の通路を利用するなどしてほしい。

6について

組合：各種手当てについては全て権限外事項ととの回答だが管轄する部署へは要求を伝えること。

7-①について

組合：全く関係ない社員に「関係ない」との時系列等報告書を書かせている無駄だ。

会社：関係あるかどうかはわからない。「私は関係ない」という事を書いてもらえばよい。

組合：問題のその場にはいないとわかっているにもかかわらず、関係ないと書かせているのは問題だ。

会社：事実関係を明確にするために指示する事はあるとおもう。

組合：明らかに関係がないとわかっている社員には強要しないこと。

7-②について

組合：これは出来ない話では無いと思う。

会社：ルールである。

組合：明けて帰る人にだけで良いから教えろという話だ。

会社：年休申し込みを20日に締め切り勤操配する。25日の夕方に作業上なる。それを変えらるとなると年休の締め切りも見直さないといけないなどの影響が考えられる。

組合：変則だから少しでも早く知りたいというのが社員の意識だ。

会社：意見があることは聞いておく。

7-③について

組合：現場の声は聞いてやっているのか。

会社：仕事が成り立たなければ改善するが、現行で問題ないと判断している。

組合：個別で足りないとなれば言えばもらえるのか。

会社：使用に耐えられない等の事情があるとすれば管理者に問い合わせしてほしい。

組合：実際の箇所にアンケートするなど聞いてほしい、社員の要望だ。

7-⑥について

組合：猛暑対策は不足しているという認識だ、暑い。今年の夏の対策はどうか。

会社：現在、具体的に言えるものは無いが、設備上の対策として考えられるものはやっ
ていかないといけないと考えている。

組合：設備で改善の予定とかないのか。

会社：お金がかかる話。出来ることをやっていく。個別にあれば知らせる。

組合：毎年議論しているが、作業環境としてせめて外気温を超えないように。

会社：出来ることはやっていく。

7-⑦～⑩について

組合：夏場の環境は良好ではない。現状を踏まえての要求であり改善を要望しておく。

7-⑪について

組合：ワーキングルームから離れている。近くに欲しいと言うことだ。

会社：実際1～2分歩いたら自動販売機あるのでそれを利用してほしい。

組合：ワーキングルームがつくられた当時、点呼でトイレを着け忘れたというというとい
う話を管理者が話している。建設当時から問題があるということ。せめて古い
トイレの改善をすること。

会社：古いと言うが、狭いというイメージはあるが、掃除も他と変わらずちゃんとやっ
ている。

組合：洋式に改善するとかできないのか。

会社：どちらが良いかという声もある。

組合：今時、和式が良いという人はいないのではないか。ワーキングルーム建設当時か
らの問題であり、きちんと予算をつけてやってほしいということだ。

7-⑬について

組合：世の中の流れと逆行している。分煙化すること。そもそもワーキングルームは電
車が通っても揺れる作りであり、社員には不評だ。

会社：分煙化については認識している。設備改良と共に進めている。

組合：トイレと共に、早急に改善すること。

7-⑭～⑰について

組合：現場の声だ、実施に向けて反映すること。

会社：老眼鏡は好みもあるだろう、自分で購入を。

組合：詰め所で作業をするときに置いておくと作業効率もあがると思うが。

会社：銀行などとは違う。

組合：要望しておく。

以上